

第2回庄原市市街地公共施設のあり方検討委員会 会議録（摘録）

1. 開催日時 平成29年12月7日（木） 10：00～12：00

2. 開催場所 庄原市役所本庁舎3階 防災対策室

3. 出席委員 西村 和之 委員長・藤谷 善久 副委員長・松田 智仁 委員
西田 学 委員・胡子 悅子 委員・藤谷 健司 委員
本平 正宏 委員・住田 鉄也 委員・八谷 るりこ 委員

4. 欠席委員 なし

5. 出席職員 企画振興部企画振興課長 加藤 武徳
教育部生涯学習課長 花田 譲二
企画振興部企画振興課企画調整係長 足羽 幸宏
教育部生涯学習課社会教育係長 中島 恵美
企画振興部企画振興課企画調整係 原田 淳司

6. 傍聴者 7名

7. 会議次第 別紙のとおり

8. 会議経過 別紙のとおり

第2回 庄原市市街地公共施設のあり方検討委員会 次第

■日時 平成29年12月7日（木）10：00～12：00

■場所 庄原市役所 3階 防災対策室

1. 開会

2. 議事

（1）市民会館・庄原自治振興センターの利用状況等について 資料①

（2）庄原市民会館のあり方アンケートについて 資料②～④

（3）今後のスケジュールについて資料⑤

3. 閉会

会議経過

1. 開会 加藤課長

2. 西村委員長あいさつ

3. 議事

(1) 市民会館・庄原自治振興センターの利用状況等について 資料①

【事務局より資料①を説明】

委員：資料に研修室と記載があるが、どこの管理なのか？自治振興センターが管理するものか？

事務局：平面図により位置を説明。市民会館所管と説明。

委員：利用実績について、3カ年分記載があるが、過去10年の状況はどうか？上昇しているのか？あるいは横ばい、低下しているのか？

事務局：はっきりした数字を次回提示したい。

委員：ホールや研修室の定員は何人か？

事務局：ホール926席・集会室約150人、研修室約30人

委員長：利用料の「あり、無し」はどのような判断基準か？明確な規定があるのか？

事務局：条例に基づき、営利目的の場合は有料としている。公共的な団体は減免申請をもらっている。

委員長：市民団体や営利目的でも地元に本社があると減額となるなどの規定はあるか？

事務局：市民と市民以外の規定はある。

委員長：今後、それぞれの施設を検討する場合、人数だけではなく、施設の大きさや利用率を出すべきである。

事務局：次回提示する。

委員長：他にも足りないものがあれば、事務局へ個別に伝えて欲しい。

(2) 庄原市民会館のあり方アンケートについて 資料②～④

【事務局より資料②と③説明】

資料②に関しては、質疑なし。

委員：マイナス面だけ強調されすぎている。人口は減るし、収入も減るし、公共施設は多く維持費がかかるなど、非常に厳しい内容だけ強調されている。利用状況はそこまで悪くなく、市民会館は必要とされていると思う。あまりに偏っているのではないか？

事務局：客観的にデータを示すと、どうしても悲観的数値となるが、前回の検討委員会

での意見を踏まえ、これを示さないとそれもまた偏るため、お示しした。

委 員：厳しい数字だが、こういった現実を示すことで市民が危機感を持つことは大切な部分だとも思う。ただ、参考資料の充実は必要ではないか？

委 員：大変なのはわかったが、有名な楽団も来ているなど、もう少し市民会館のいいところも記載すべきである。音響が良いなど、普段使っている人には当たり前になっている良いところを、もっと示すべきである。

委 員：資料③P. 3に「公共施設の状況」が出ているが、市民会館を含め、全部の施設を整理したほうが良いと書いてあるように見える。工夫が必要ではないか？また、稼働率と利用率、例えば365日分の何日など示すべきである。人数だけではわかりにくい。

委員長：稼働率と利用率は今後の方向性を導き出す上で必要になってくると思う。また、総合管理計画は2年前に示されたが、再度お示しすることは大切だと思う。ただ、もう少し良いところを記載する必要があるが、前段を多くすると読まなくなる。バランスは難しいが、人口減少が交付税減額につながることを触るべきである。利用状況等増やす余地はある。

今回のアンケートとは直接関係無いが、世代間別の利用状況の把握、利用時間帯の把握も必要。また、広島市に比べ、早く人口減少しているということは、早く人口減少が止まる事を示してもいる。現在だけ見ていてはダメで、そこまで考えなければならない。

また、市外から入ってくる人に、何が魅力だと庄原市は示すのか？魅力のひとつとしての公共施設が何なのか、どういう施設なら魅力なのか？考える必要がある。

委 員：専門家として指摘するが、資料③P. 1の点線四角内の○と○との間に「指定避難所としているが、1981年の新耐震基準を満たしていない」を追加しなければいけない。それに連動して、最後の○に「一部補強工事を実施すれば、設備等は更新でき、費用をかけば耐震性を向上させることができる」との記載が必要。また、内容が難しい部分もあるが、高校生300人も同じ資料でやるのか？

事務局：高校生はもう少しあわかりやすく別に作成する。

委 員：【参考資料】として市民会館の状況があるが、参考資料ではなく、大きい「4番」として載せるべき。10年間の利用者グラフやホールだけではなく、集会室、研修室も利用状況出すべき。今年度の主な事業状況も欲しい。市民会館の良いところの説明や愛着の醸成につながると思う。

【事務局より資料④説明】

委 員：資料④P. 2 問 4 に「自治振興センター除く」が必要ではないか？問 5 の③のホールに席数が必要ではないか？使ったことがある人に回答してもらう項目だと思う。P. 5 問 7 の席数 936 ? 926 ?

事務局：936 席だったものが車いす席設置のため、926 席になった。よって、926 席が正しい。

委 員：P. 6 問 9 について、選択肢の順番が 1 と 3 が逆だと思う。また、3 の維持修繕を記述する中で、指定避難所なのに耐震補強に関する記述がなければ、指定避難所に対する市のスタンスを問われると思う。耐震補強はしないという主旨か？必要な維持修繕の中に含んでいるのか？大規模改修に耐震工事を含めているのか？新築という答えにもって行きたいのか？整理が必要だと思う。

P. 7 問 10 の設問について、そのまま読めば、1~12 まで市が整備すると意思決定した工事の順番を問うているように感じられるが、学校や文化施設、スポーツ施設など整備するのか？そのような主旨の設問なのか？

委員長：問 10 は市民会館の整備に関する設問ではないので、新たに「IV」で改めて全体のことを聞かせてください、総合管理計画を説明して再度お聞きする形でなければおかしい。問 10 と問 12 は独立して、市民会館とそれ以外を聞くことになるので、はっきり差をつけないといけない。あえて市民会館以外を改めて聞きますと示さないと混乱する。

委 員：そもそも、市は市民会館を必要と思っているのか？自分は必要だと思っているが、市民会館を無くす選択肢もあるのか？

事務局：総合管理計画アンケート結果にもあるように、市民にとって大切な施設であると思っており、廃止するといった考えではない。

委 員：だとすれば、現実として、大規模改修か建替えになると思うが、席の数など具体的なことは考えているのか？

事務局：具体的なことは、今回方向性をはっきり決定した後に、整理して行くこととなる。

委 員：皆さん非常に関心が高いので、色々意見があると思うが、三次の「きりり」ができるようなものを作っても意味がない。それでは今までの繰り返しとなる。先を見越して、何らか特化すべきではないのか？そのことをアンケートで聞くべきではないか？

事務局：具体的なものは、次の段階でお聞きしたい。

委 員：現在地での建替えはないのか？

事務局：当初検討したが、2~3 年施設を閉鎖することになる。現実的に厳しいと判断した。

委 員：それでは、問9の1と3は同じになるのではないか？どちらも耐震化するのであれば同じだと思う。

事務局：1は大幅リニューアル、3は、壊れたものをその都度直す、必要最小限の改修を意味している。

委 員：ならばそのことを、もっとはつきり違いがわかるように記載すべきではないか。とてもわかりにくい。

（他の委員も賛同）

委員長：資料③公共施設の状況に、年間維持管理費31億円との記載があるが、問9の44億かかるのであれば31億円では足りないと感じる人もいるはず。数字が出ているため、丁寧な説明が必要である。

委 員：新築の場合、候補地はあるのか？

事務局：今は全くの白紙である。現在地の近くに建てるのか？郊外に建てるのか？それらを含め白紙である。

委員長：新築の金額が出ているが、土地を新たに取得したのか？市の土地に建てたのか？一部買取したのかによって全然違ってくる。数値を示さざるを得ないのは理解するが、説明を丁寧にしないと誤解を生む可能性が有る。

委 員：問10と問12は今回のアンケートと関係ないがなぜ聞くのか？

事務局：問10は、市民会館だけ聞けば新築が良いとなると思うが、一方で、何が本当に必要か？他の施設整備との優先順位もお聞きしたい。問12は、今回は市民会館のみ聞いているが、元々、中心市街地公共施設のあり方検討委員会なので、お聞きしている。

委員長：なので、やはり問10と12は独立させる必要がある。問12の設間に、市街化地域の公共施設のあり方も検討したいので聞かせてくださいが要る。

委 員：問9の後に他の優先事業を聞かれると、今までの答えを直さないといけないと考えてしまう。

委員長：確かに行ったり来たりになるかもしれないが、それも大切ではないかと思う。それを含めた情報提供であると考える。

委 員：このアンケートをすること自体、ある意味リスクがあると思う。財政状況などを見ると新たな場所へは難しいだろうが、都市経営において、一点豪華主義というものがある。庄原市にとって、市民会館を今後の庄原市の都市経営の目玉とするのか？単に公共施設の維持管理を聞くのではなく、庄原市の都市経営戦略の基本・中心となる考え方を何らかの形で触れて、市民会館を聞くべきである。それが無いと建替え派と改修派など分かれるだけになる。都市経営戦略が大事である。

委員長：長期総合計画があって、「まち・ひと・しごとづくり」計画もあって、人口減少を抑えるためのツールとして、公共施設のあり方があるはず。少しでもいい

ので、一番上の長期総合計画にふれ、「まち・ひと・しごと」の中身にも触れた上で、今後のあり方を聞くべきである。

委員：市街地の公共施設のあり方を聞くアンケートとしては、それなりにいいものができていると思う。耐震化工事はどの結論でも大切である。市民会館と自治振興センターは同じ屋根でひとつであるため、一体的に考える必要がある。同じ社会教育施設として全体の中の位置づけを聞くべきである。市民の意見は聞くようだが、現場の意見はどのような形で聞くのか？生涯学習課が把握しているのか？現場の意見を多く反映させるべきである。アンケート自体は今までよいと思う。

委員長：現場の意見は、次回以降の委員会でお聞きする予定。市民アンケート結果と現場の意見を合わせて提言を出して行きたい。

本日の会議の意見を踏まえた上で、原案修正をして、できるだけ早めに委員に送っていただきたい。委員さんも1週間くらいしかなく、タイトスケジュールとなるかもしれないが、早めに市に返答をいただき、それを踏まえてアンケート実施してよろしいか。

他委員：異議なし

(3) 今後のスケジュールについて 資料⑤

【事務局より資料⑤説明】

委員長：年度内にあと2回程度委員会を開催したい。関係者の意見聴取に関し、文化協会だけでなく、実際の利用者、コンスタントに利用されている方からも聞くべきと思う。学校の先生や大口利用者から聞くべきである。委員に対し、アンケート修正案を示すときに、候補者を出して欲しい。委員の皆さん推薦の多い方に来ていただくことにしたいがどうか？

事務局：けんみん文化祭などは、実際は文化協会が運営される。毎年行われる「こどもミュージカル」、「太鼓」など、バランス取りながら聞きたい。観客意見はアンケートで聞くことしたい。他のホール改修時には、舞台芸術者の専門家意見も聞いている。ある程度案は持っている。

(その他意見なし)

委員長：事務局はタイトなスケジュールだが、アンケート修正をお願いしたい。委員皆様の本日のご協力に感謝申し上げる。

事務局：アンケート修正をして、皆様にご覧いただいた上で、1月上旬にアンケートを実施したい。

12:00 終了

以上、議事の経過ならびにその結果を明確にするため、本会議録（摘要）を作成し、会議
録署名人が次に署名する。

平成 29 年 12 月 7 日

会議録署名人 西村知之

会議録署名人 藤谷善久